

アセスメント・ポリシー

八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部では、本学が独自に定めた3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)に基づいて求められる教育成果の達成を確かめるため、学修成果の評価の方針(アセスメント・ポリシー)を定め、学修成果の分析・評価・検証・改善を行います。

分析・評価する対象は、在学中の学生に関する情報に加え、学生の入学以前や卒業以降も含まれます。また、機関(大学・短大)レベル・教育課程(学部・学科)レベル・授業科目(個々の授業科目)レベルの3つに区分し、それぞれについて定期的に分析・評価を行います。

また、本アセスメント・ポリシーは継続的に検証され、必要に応じて更新されます。

以下3つのレベルそれぞれについて主な目的を定め、定期的に分析・評価を行います。分析対象となるデータは学内の議論によって選定され、本ポリシーに明示されます。

1. 機関レベル

主に八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部の全学的な改善や学修支援のため、機関レベルでの分析・評価を行います。

入学前における学生募集・入試・入学時の情報、在学中における出席状況・成績・各種アンケート・各種アセスメント調査(ループリック評価)・課外活動・資格取得状況・休学や退学についての情報、卒業時における卒業生数・学位授与数・就職状況・進学状況・各種アンケート、卒業後における各種アンケートの情報等を分析・評価対象とします。

2. 教育課程レベル

主に各学部・学科の教育課程の改善や学修支援のため、教育課程レベルでの分析・評価を行います。

「1. 機関レベル」と同様の情報を分析・評価対象とします。

3. 授業科目レベル

主に個々の授業科目における学修成果の向上のため、授業科目レベルでの分析・評価を行います。

入学前における学生募集・入試・入学時の情報、在学中における出席状況・成績・各種アンケート(特に授業アンケート)・各種アセスメント調査(ループリック評価)・課外活動・資格取得状況の情報等を分析・評価対象とします。

なお、科目の成績についての評価は、それぞれの科目の特性・特徴や学習目標に応じ、シラバスに示された評価方法に沿って教員が行います。

以上